

健康教育活動

年報・機関紙の発行

- ・「東京都予防医学協会年報」2005年版(平成15年度活動報告)・通巻第34号(A4判248ページ:2000部)を発行した。
- ・月刊機関紙「よぼう医学」(タブロイド判 4月～11月号 6ページ・12月号～3月号 4ページ:11000部)を11回発行した。

発行月	主な内容
4月	乳がんマンモ検診体制を充実・本会, PETの検診への応用
5月	乳がん・子宮がん検診の指針を改正・厚労省, がん予防重点健康教育及び検診実施のための指針新旧対象表, 第77回日本産業衛生学会が開催
6月	子宮がん検診600万人達成, 健康増進事業実施者に対する「健診の指針」が告示, 学校における水泳プールの安全・衛生管理, 第195回ヘルスケア研修会「元気づくりの食生活教育」
7月	第223回学校保健セミナー「今, 子どもたちに何が?」, 対談 これからの健診はどうあるべきかー生涯にわたる健康増進に本当に役立つ健診を考える, 第222回学校保健セミナー 学校検尿で発見された2型糖尿病をとりあげる
9月	「受診率向上」でパネルー第12回日本がん検診・診断学会が開催, 乳がんマンモ検診ー精度の高い, ニーズに対応した検診体制の確立をめざして, 安全でおいしい水を求めてー水道水の水質基準が全面的に見直し
10月	第32回日本マス・スクリーニング学会が開催, 食育を考えるー職域へのメッセージ, シンポジウム「転換期のがん検診」, 健康づくり懇話会総会が開催
11月	日本の子宮がん検診を科学的に評価, 子どもの2型糖尿病とその長期予後ー学童糖尿病検診は有用か, 『子どもの生活習慣病予防の実際』を発行・中央会, 電通「健康フェア」で健康セミナーや健康相談を実施
12月	「たばこ規制枠組条約発効記念の催し」が開催, 循環器健診を効果的な健診にするために, 第198回ヘルスケア研修会「従業員のQOLを高めるために」
1月	2005年の年頭によせて, 2月は「職場の健康診断推進運動」月間
2月	生涯にわたる健康づくりを主眼にー第33回日本総合健診医学会が開催, 大腸がん検診ガイドライン公表に先立って公開フォーラム・厚労省がん研究班, 第199回ヘルスケア研修会「就業形態多様化時代の健康管理」
3月	第12回「東京から肺がんをなくす会」学術講演会, 「東京から肺がんをなくす会」29年間の成績, 第10回健康づくり懇話会例会が開催

* 記事の内容は本会ホームページ (<http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp>) に掲載しております。

パンフレットの出版

職域の健康管理の仕事にたずさわるの方々のためのシリーズ「健康管理のとびらをひらく」(健康管理コンサルタントセンター発行・B6判36ページ) No. 42『健康管理ウソのようなホントのはなし』(著者:岡惺治 健康管理コンサルタントセンター会長)を企画・編集・協力した。

研修会・研究会の開催

健康管理コンサルタントセンターと本会の共催によるヘルスケア研修会を下記のテーマで開催した。

開催日	回	テーマ	講師
2004年 5月26日	第195回	今, 求められる健康教育(3)	田代 朱実 日立グローバル・ストレージ・テクノロジーズ 健康管理室管理栄養士・衛生管理者
2004年 7月14日	第196回	これからの健康診断	吉田 勝美 聖マリアンナ医科大学教授
2004年 9月29日	第197回	こう変わるがん検診	辻 一郎 東北大学大学院教授
2004年 11月24日	第198回	今, 求められる健康教育(4)	村田 陽子 ビーイングサポート・マナ代表
2005年 1月26日	第199回	就業形態多様化時代の健康管理	大原 博 日本人材派遣協会副理事長 雨宮 央 パソナ東京管理室衛生管理者 三澤真理子 三澤労働衛生コンサルタント事務所所長
2005年 3月30日	第200回	生と性の華麗なる調和	川田 純 徳島大学名誉教授

企業・健康保健組合の健康管理担当者を中心に構成している「健康づくり懇話会」の事務局を引き受け, 下記のテーマで開催した。

開催日	回	テーマ	講師
2004年 10月15日	総会	プレストケアー乳がん死ゼロを目指して	島田菜穂子 東京通信病院放射線科医長
2005年 2月 4日	例会	今, 求められる企業の健康管理とメンタルヘルスの実際	下村 洋一 下村労働衛生コンサルタント事務所所長

財団法人東京都学校保健会と本会の共催により学校保健セミナーを下記のテーマで開催した。

開催日	回	テーマ	講師
2004年 6月29日	第222回	子どもの糖尿病	大和田 操 女子栄養大学大学院教授
2004年 7月 5日	第223回	今, 子どもたちに何が?	浅井 利夫 東京女子医科大学教授